

# 令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	岩木常盤野コミュニティセンター
施設の設置目的	地域住民のコミュニティ意識の高揚を図り、郷土愛に根ざした自主的地域活動の推進に資するため。
所在地	弘前市大字常盤野字上黒沢25番地73
指定管理者名	岩木常盤野コミュニティセンター管理組合
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>事業計画に基づいた適正な管理運営を実施しており、地域住民の交流の場として快適に施設を利用してもらえるよう、管理組合員が協力して、清掃は月に1度当番制で実施するなど、施設内外の環境美化や維持管理に努めている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>自主事業については、協定書等に規定していないため、当施設は対象外。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>当施設は、利用者の利用のある時だけ開館する施設であることから、開錠、施錠の管理、施設内外の清掃、施設内の設備の点検などは管理組合員が協力して実施している。また、冬期間は雪かき、屋根の雪下ろし、大掃除を実施するなど、環境美化が図られている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>施設を利用した際に、口頭での意見の聞き取りに努めている。令和元年度においては、特に意見なし。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和元年度の利用許可件数は10件、利用者数は135人となっており、前年度を下回る数値となっている。 (参考:平成30年度 利用許可件数14件、利用者数245人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

## 7 実地調査の結果

管理組合員が協力し施設内の環境美化や維持管理、防犯対策に努めており、適正な管理運営を実施していた。

## 8 成果指標の達成度

利用件数…目標利用件数14件に対し、利用実績件数10件のため、達成度は71.4%  
 利用者数…目標利用者数 281人に対し、利用者実績数135人のため、達成度は48.0%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用希望があれば、可能な限り対応しているほか、日頃から利用者からの意見・要望等の把握に努めている。	今後も利用者が快適に施設を利用できるよう、管理運営に努める。
施設の管理	B	施設内外に異常がないか、頻繁に点検を行っており、修理が必要な場合は、可能な限り組合員が対応している。また、定期清掃や大掃除、除雪作業、草取り等を行っている。	今後も利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の管理運営に努める。
経理の状況	B	毎年度、必要経費を計画し、経費の削減に努めながら、計画に沿った支出を実施している。	今後も、適正な経理処理に努める。
団体の財務状況	B	安定した財務状況を維持している。	今後も、安定した財務状況の維持に努める。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容を、概ね適正に実施している。とりわけ、利用者からの意見・要望に配慮している。	今後も、適正な運営を実施していただく。
施設の管理	A	施設の利用がないときでも、頻繁に施設の見回りや清掃、除雪、屋根の雪下ろし等を実施している。また、簡易な施設の修繕等については、材料費のみの経費で自主的に実施している。	今後も、適正な管理を実施していただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する